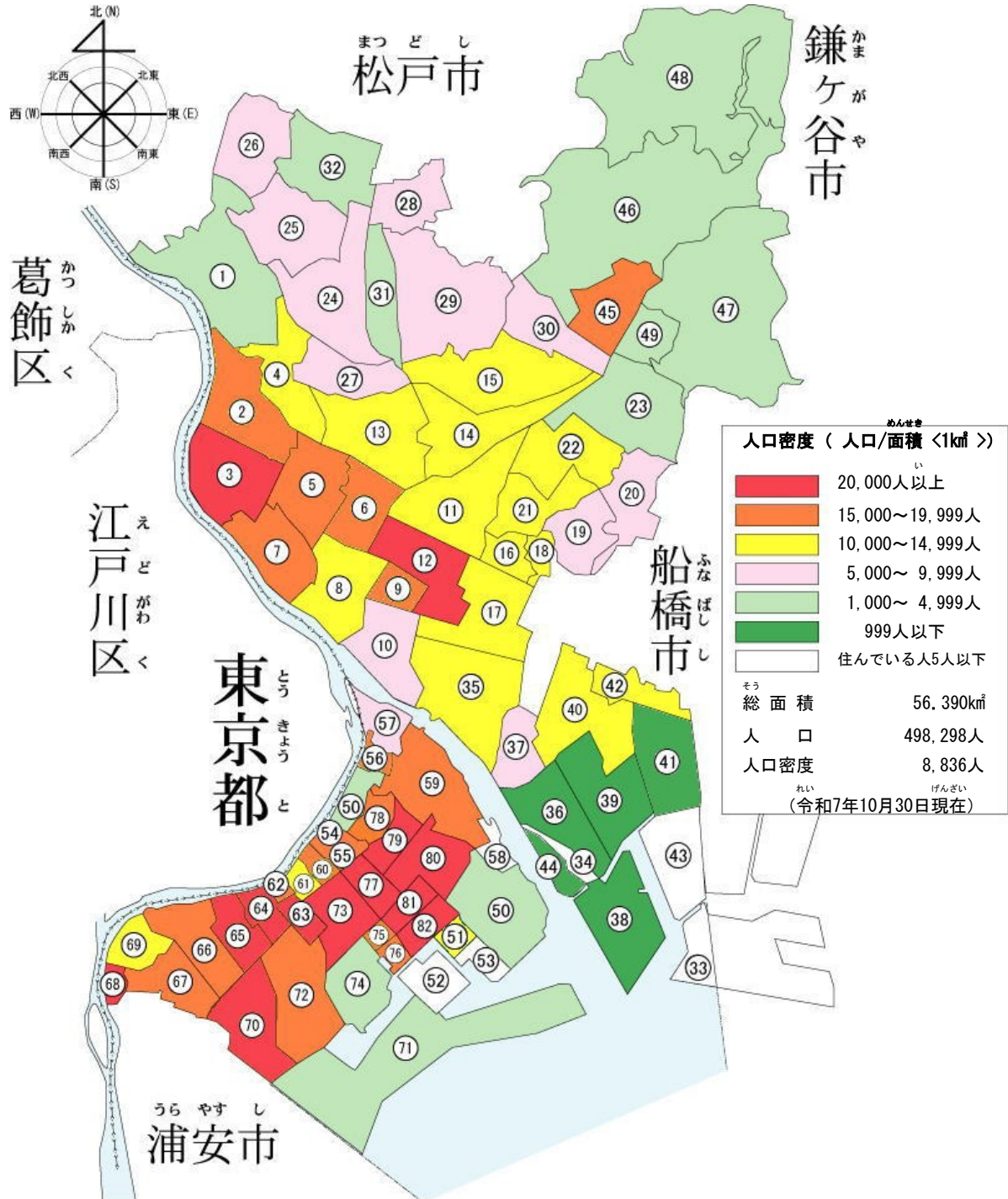


【資料の広場】

◆市川市の町名と人口密度

町 名	町 名	町 名	町 名
①国府台 こく の だい いち いち	②中市川 いち かわ みなみ	③市川南 ま ま	④真間 しん でん
⑤新田 ひら た	⑥平田 おお す	⑦大洲 おお わ	⑧大和田 ひがし おお わ
⑨東大和 とう か	⑩稲荷木 や わた	⑪八幡 みなみ や	⑫南八幡 すが の
⑬菅野 ひがし すが	⑭東菅野 みや く	⑮宮久保 おに ごえ	⑯鬼越 おに たか
⑰鬼高 たか いし	⑱高石 なか	⑲中山 わか みや	⑳若宮 きた かた
㉑北方 もと きた	㉒本北 ぼっ け	㉓北方町4丁目 まち	㉔国分 こく ぶん
㉕中国分 なか こく ぶん	㉖北国分 きた こく ぶん	㉗須和田 す わ だ	㉘稲越 いな ごし
㉙曾谷 そ や	㊱下貝塚 しも かい づか	㊲東国分 ほり の うち	㊳堀之内 ひがしはま
㊴東浜1丁目 た じり	㊵田尻 た じり	㊶田尻1～5丁目 こく や	㊷高谷 こう や
㊸高谷1～3丁目 こう や しん	㊹高谷新町 ばら き	㊺原木1～4丁目 ふた また	㊻二俣 ふたまた
㊼二俣1～2丁目 ふた また しん	㊽二俣新町 かみ みょう でん	㊾上妙典 みなみ おお の	㊿南大野 おお の まち
㊱大野町 おお の まち	㊲柏井町 かしわ い まち	㊳大町 おお まち	㊴奉免町 ほん ぎょう とく
㊵本行徳 か とう しん でん	㊶加藤新田 ち どり ちょう	㊷千鳥町 たか はま まち	㊸高浜島 せき が しま
㊹関ヶ島 い せ じゅく	㊺伊勢宿 しも しん しゅく	㊻下新宿 か 新 わら	㊼河原 しも みょう でん
㊽下妙典 みょう でん	㊾妙典 おし きり	㊿押切 みなど	㊱湊新田 みなと しん でん
㊲湊新田1～2丁目 みなと しん でん	㊳香取 か け ま	㊴欠真間 あい の かわ	㊵相之川 あら い
㊶新井 しん じり	㊷島尻 しま じり	㊸広尾 ひろ お	㊹南行徳 みなみ ぎょう とく
㊺塩浜 しお ふく えい	㊻福栄 ふく まえ	㊼行徳駅 ぎょう とく えき	㊽新浜 にい はま
㊾入船 いり ふね	㊿入船 ひ で	㊱日之出 すえ ひろ	㊲末広 ほん しお
㊳本塩 とみ はま	㊴富浜 しお やき	㊵塩焼 焼	㊶宝 たから
㊷幸 さいわい			

あなたの住んでいる地いきのようすはどうですか？
ほかの地いきとくらべてみましょう。



◆市川市のうつりかわり

時代	明治時代				
年	一九〇七 (明四〇)	一九〇五 (明三八)	一八九五 (明二八)	一八八五 (明一八)	一八七五 (明八)
主なできごと	市川町・八幡町・行徳町・中山村・五常村(国分村)・大柏村・南行徳村が誕生した。(明治二三)				
人々のくらし	市川に発電所ができ、真間と国府台で電とうがはじめてついた。 このころから、市川の中心が行徳から鉄道のまわりにかわってきた。 南行徳でのりを作りはじめた。				
学校	信篤小ができた。(明治二九)				
そのほか(交通)	京成電鉄がはじめて、江戸川と真間の間をとり、京成国府台駅と真間駅ができた。(明治四三)				
人口(人)					

大正時代		昭和時代	
一九一五 (大四)	一九二五 (大二四)	一九三五 (昭一〇)	一九四五 (昭二〇)
大つなみで行徳・南行徳が大きなひがいをうけた。 (大正六)	江戸川放水路ができた。 (大正八)	市川町・八幡町・中山町・国分村がいつしよになって市川市となった。 県内3番目(昭和九)	市川にも空しゆうがあつた戦争がおわつた。 (昭和二〇)
	関東大しんさいがおきた。 (大正一二)	市川にも空しゆうがあつた戦争がおわつた。 (昭和二〇)	戦争によって家がやかれたり、こわされたりした人たちが東京からうつり住むようになった。
	市川にはじめて水道がひかれた。	行徳の塩作りがなくなった。	
	このころ地しんで、ひがいをうけた人たちが東京からうつり住むようになった。		
	市川にはじめて水道がひかれた。		
		昭和学院ができた。(昭和一五)	宮田小ができた。(昭和二五)
	国府台女子学院ができた。 (大正一五)	真間小・日出学園ができた。 (昭和九)	市川・真間・中山・八幡・国分・南行徳の各小学校で学校給食を開始した。 (昭和二三)
		一中・二中・三中・四中・第五中のもとなる学校・第七中のもとなる学校が新制中学としてできた。 (昭和二二)	
人車鉄道がなくなった。(大正六)	京成菅野駅、京成八幡駅、京成中山駅ができた。(大正四)	国電本八幡駅と京成曳越駅ができた。(昭和一〇)	市川・真間・中山・八幡・国分・南行徳の各小学校で学校給食を開始した。 (昭和二三)
		国電が両国と市川・船橋の間をとつた。(昭和八)	
		京成バスがはじめて国府台と船橋の間をとつた。(昭和三)	
			一〇〇〇〇〇 (昭和二四)
		五八〇〇〇 (昭和一五)	
		四〇〇〇〇 (昭和九)	
		三八〇〇〇 (昭和五)	
		三〇〇〇〇 (大正一四)	
		一八八八八 (大正九)	

時代	しょうわ昭和時代				
年	一九七五 (昭五〇) 一九六五 (昭四〇) 一九五五 (昭三〇)				
主なできごと	しゅうまつしゅうじょう 終末処理場・市川考古博物館ができた。(昭和四七) アメリカのガーデナ市と姉妹都市となる。 (昭和三七) 行徳海岸のうめ立てがはじまった。(昭和三四) 台風で真間川があふれ真間や菅野がひがいをうけた。 (昭和三二) みなみぎょうじく 南行徳町が市川市といっしょになった。(昭和三一) ぎょうじく 行徳町が市川市といっしょになった。(昭和三〇)				
人々のくらし	しんてん このころ新田でいちご作りがさかんにおこなわれていた。 このころ国電の南がわの新田やおおす大洲に工場がたてられるようになった。 行徳のうめ立て地に大きな工場がたてられるようになった。 大野・大町で梨作りがさかんにおこなわれるようになった。 行徳にも住たくや大きなマンションがたつようになった。				
学校	新井小・南新浜小・大野小・東国分中ができた。(昭和五五) 柏井小・大洲小・幸小・下貝塚中・福栄中・高谷中ができた。(昭和五四) 富美浜小ができた。(昭和五三) 百合台小ができた。(昭和五二) 新浜小ができた。(昭和五〇) 北方小ができた。(昭和四九) 大町小ができた。(昭和四八) 中国分小・曾谷小ができた。(昭和四七) 二俣小ができた。(昭和四五) 宮久保小ができた。(昭和四三) 鶴指小・第八中ができた。(昭和四二) 第七中ができた。(昭和三七) 菅野小・第六中・市立ようご学校ができた。(昭和三二) 稲荷木小・鬼高小ができた。(昭和三一) 平田小ができた。(昭和二八) 若宮小・国府台小ができた。(昭和二七) 富貴島小ができた。(昭和二六)				
そのほか(交通)	むさしの 武蔵野線が開通し市川大野駅ができた。(昭和五二) わんがん 湾岸道路ができた。(昭和五三) そうぶ 総武線が複々線になり快速が走るようになった。(昭和四七) 地下鉄東西線が開通し、行徳駅ができた。(昭和四四) 京葉道路ができた。(昭和三五)				
人口(人)	三四〇〇〇 (昭和五二) 二六〇〇〇 (昭和四五) 二〇〇〇〇 (昭和四〇) 一六〇〇〇 (昭和三五) 一四〇〇〇 (昭和三一) 一三〇〇〇 (昭和三〇)				

昭和時代		平成時代	
一九八五 (昭六〇)	市川市文化会館・動植物園 ができた。(昭和六〇)	二〇一八 (平三〇)	東京外かく環状道路が開 通した。(平成三〇)
	市民プール・少年自然の 家・市川歴史博物館がで きた。(昭和五七)	二〇一一 (平二三)	東日本大しんさいがお きた。(平成二三)
	中国の樂山市と友好都市に なった。台風で須和田や ひがしくふん 東国分が大水のひがいを うけた。(昭和五六)	二〇一〇 (平二二)	市川駅南口地区の再開発が 完了した。(平成二二)
		二〇〇〇 (平一一)	ドイツのローゼンハイム市 とパートナーシティとなっ た。大洲防災公園ができ 市川市リハビリテーション 病院ができた。(平成一〇)
		一九九〇 (平二)	阪神・淡路大しんさいがお きた。(平成七)
			メディアパーク市川・市川 市クリーンセンターができ た。(平成六)
			インドネシアのメダン市と 姉妹都市になった。塩浜体 育館ができた。自然博物館 ができた。(平成元)
			妙典にも住たくやマンション ができてきた。
			南行徳にも住たくやマンション ができてきた。
			根本排水機場ができた。
			大野あたりに住たくやマンショ ンがふえはじめた。
			義務教育学校塩浜学園ができ た。(平成二八)
			須和田の丘支援学校稲越校舎 ができた。(平成二〇)
			第七中が新しくなり、保育・ 介護・公会堂施設がいっしょ にできた。(平成一六)
			妙典小ができた。(平成一一)
			京成電鉄が北総線開発鉄道経 由で成田空港につながった。 (平成二二)
			地下鉄東西線妙典駅ができ た。(平成一二)
			北総開発鉄道が開通し、北国 分駅・松飛台駅・大町駅がで きた。(平成三)
			京葉線が東京駅へ乗り入れる ようになった。(平成二)
			地下鉄新宿線本八幡駅ができ た。(平成元)
			京葉線が開通し、二俣新町・市 川塩浜駅ができた。(昭和六三)
			国鉄がJRとなった。 (昭和六二)
			地下鉄東西線南行徳駅ができ た。(昭和五六)
			四八〇〇〇 (平成二九)
			四七〇〇〇 (平成一九)
			四六〇〇〇 (平成一四)
			四四〇〇〇 (平成六)
			四一〇〇〇 (昭和六二)
			三七〇〇〇 (昭和五六)

時代	令和時代 ^{れいわ}		
年	二〇二〇 (令二)	二〇二二 (令三)	二〇二五 (令七)
主なできごと	東京オリンピック・パラリンピック二〇二〇が一年延期で実施された。(令三)		市川市で「国府サミット」が開催された。(令七)
人々のくらし			
学校	小中一貫型小学校・中学校 信篤三つ葉学園がスタートした。(令和四) 小中一貫型小学校・中学校 東国分爽風学園がスタートした。(令和三)		
そのほか(交通)			
人口(人)	四九〇〇〇〇 (令和二)		